

東大和三中だより

令和8年2月3日

2月号 (No.10)

発行 東大和市立第三中学校

読書について

副校長 水谷 延広

昨年末、図書委員の生徒から、「おすすめ本の紹介を書いてほしい」という依頼がありました。私は、迷わず、夏目漱石の「坊っちゃん」にしました。なぜなら、この本は、私が中学校に入り、初めて読んだ本であり、とても楽しく面白く読んだ記憶があったからです。

本校でも、毎朝、始業前の短い時間を使って生徒たちが読書をしています。教員も一緒に読書をしています。校内を巡回している私は、生徒一人一人が本を通して自分に向き合い、静かな時間を過ごしている様子を見るにつけ、一種の清々しさを感じます。

江戸時代までは、読書といえば朗読（声に出して読む）でした。本は個人で読むものではなく、家族で朗読し合いながら、楽しむものだったのです。それが、明治時代になり、初めて黙読（だまって個人で読む）という文化が生まれました。印刷技術の発達により、個人の趣味に合わせて、自分の読みたいものを読めるようになったのです。そして、多くの人に本が読まれるようになると、本を手にする環境も変わり、本屋や図書館が登場してきました。また、読みやすい表記にするため、句読点（文章中の「、」や「。」）が広まったのもこの頃のことです。

私は、おすすめ本の紹介を通して、自分の読書体験を思い出すと同時に、毎朝行っている朝読書に、明治時代から綿々と続く読書文化を継承する意義があることも再確認できました。普段、何気なく行っている教育活動の意義を再確認することはとても重要で、特に朝読書は、どんなに時代が変わっても、変わらない活動として続けていきたいと感じました。

これからの本校の課題は、朝読書を通して本に親しむ生徒を増やし、読書習慣を身に付けていくことだと思います。私自身も最近、仕事にかまけて読書時間が減少しているので、自分の読書習慣を見直すよい機会にもなりました。

スキー教室について

1年生は、1月21日(水)～23日(金)の2泊3日でスキー教室に行ってきました。子どもたちのスキーの上達は目覚ましく、3日目には全員がゲレンデを上から滑り降りてくることができました。宿舎でもダンス発表会や学級対抗のレクリエーションをやり、大いに盛り上がりました。各部屋でも、みんなでおしゃべりしたりカードゲームをしたりするなど、普段は味わえないような友達との時間を楽しく過ごしました。この3日間で1年生は、一回り大きく成長しました。



書き初めについて

東大和市では、書初めの作品を展示し、相互の鑑賞を通して書写学習への意欲を育てることを目的として、1月24日(土)から25日(日)まで、連合書き初め展が行われました。展示会後に本校の作品は、職員室前の廊下に掲示される予定です。

道徳授業地区公開講座について

目的:授業公開及び意見交換を通して学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進する。

日時:2月7日(土)

1校時 授業公開 8:40～9:30

2校時 道徳公開 9:40～10:30

3校時 意見交換会 10:40～11:30(授業公開は行いません)

4校時 授業公開 11:40～12:30

※2校時は、「生命の尊さ」をテーマに道徳の授業を実施します。

※3校時は、視聴覚室で「家庭・地域と共に生徒の心を育てる」をテーマに意見交換を行う
予定ですので、ぜひご参加ください。

※2階事務室前に三中 TV があり、合唱コンクールやスキー教室等の映像を流していますので、
来校の際には、ぜひご覧ください。

3×5フェスタが開催されました

1月17日(土)、東大和市立第五小学校で、「3×5フェスタ」が開催されました。「輪投げ」や「射的」などに小学生が参加し、スタンプラリー形式で各ブースを回るというイベントでした。三中生は、ボランティアとして生徒会を中心に30名程の生徒が参加しました。生徒たちは、各ブースの責任者として、明るく元気に活動していました。今年度、三中生は様々な場所で、ボランティアとして活躍してきましたが、今後も、地域のために頑張ってもらいたいです。

